

令和元年度 光プロジェクト「医大キャンパス訪問」（自治医科大学）

- 実施日 令和元年8月5日（月）
- 訪問先 自治医科大学（栃木県下野市）
- 参加生徒 11名（1年6名・2年5名）

8月5日（月）、医学部および医療系の学部を志望する生徒11名を集めて、今年度の「医大キャンパス訪問」が実施されました。訪問先は、昨年度に続き「自治医科大学医学部」。東京都立戸山高校（早稲田大学の敷地に隣接する名門校）の生徒12名との合同実施となりました。

当日の内容は盛りだくさんで、かつたいへん充実していました。

まずは、医学部の川平 洋教授（メディカルシミュレーションセンター長）による模擬講義…外科手術の最先端に携わりながら、外科医や医療従事者の負担軽減を図るべく様々な機器（「アルケリス」という姿勢保持機器など）の開発にも携わる先生の言葉からは、学問に対する熱く若々し

い情熱がひしひしと伝わってきました（自ら開発された機器の紹介のため、民放TV番組で明石家さんま氏と共演された経験もお持ちだそうです）。

「在学生との懇談」では、茨城県出身の2名の医学生の方々（茗溪学園，清真学園出身）と生徒たちとによる懇談の時間が設けられ、高校時代の学習法，自治医大での生活などについて、忌憚のない対話が交わされました（ご協力ありがとうございました）。

時間	内容	講師、担当等	場所
午前			
9:40	到着		教育・研究棟
10:00~10:10	挨拶	川平教授	大教室1
10:10~11:00	模擬講義	川平教授	大教室1
11:00~11:10	休憩		
11:10~12:00	在学生との懇談	在学生	大教室1
12:00~12:05	徒歩移動		
12:05~13:00	昼食	学事課	学友会館学生食堂
午後			
13:00	集合		大教室1
13:00~13:05	徒歩移動		
13:05~14:25	シミュレーターを使用した体験実習	川平教授	シミュレーションセンター
14:25~14:30	徒歩移動		
14:30~14:45	大学全体見学	学事課	記念棟13階
14:45~14:55	徒歩移動		
14:55~15:35	学生寮見学	学生課	学生寮
15:35~15:40	徒歩移動		
15:40~16:00	医学部教育・研究棟見学	学事課	医学部教育・研究棟
16:00~16:05	閉会挨拶		大教室1



（茨城県出身の自治医大生との懇談）

午後の部「シミュレーターを使用した体験学習」も、新鮮な“驚き”を与えてくれました。採血，呼吸機器の取り付けといった医療行為をシミュレーターを用いて疑似体験するのですが，あれほどまでにリアルだとは…。とりわけ，本物の注射器を用いて行う採血（疑似血管を探り当てて注射針をさし，疑似血液を採取する）は本物さながらで，傍らで見ているつい「痛っ！」と言いたくなるほど真に迫っており，医療機器の進歩を肌で感じられる貴重な経験でした。



(シミュレーターを使用した体験実習)

「地域医療への貢献」という高邁な理想のもとに建学された大学での学びの一端に触れ，参加した生徒諸君も大いに刺激を与えられたようです。医学部医学科への道は平坦ではありませんが，ぜひ一人でも多くの生徒にチャレンジしてほしいと願っています。

川平教授をはじめ自治医科大学医学部の皆さま，オープンキャンパスを4日後に控えたたいへんご多用な中にもかかわらず，懇切丁寧な案内をいただき，誠にありがとうございました。

【アンケート結果】（11名）

設問1 あなたがこの行事に参加した「目的」は何ですか。あるいは、特に「何について」知りたいと思って参加しましたか。【Plan】

- 医学部ではどんな勉強をしているのか、どんな環境で勉強をしているのかを知りたいと思って参加しました。医学、看護に興味があるからです。
- 医学部に興味があり、多くの大学の医学部について知りたかったからです。特に、医者国家試験の合格率や、自治医大ではどのようなカリキュラムで学習しているのか、自治医大の学生や大学全体の雰囲気について知りたいと思い、参加しました。
- 自治医大がどういうところなのかということを知ること。実際の医学部の講義や実習などをもっと知りたいと思って参加した。
- 医療系の進学も視野に入れている中で、医学において先進的な大学を見て見たいと思ったからです。ただ、なかなか行ける大学ではないので、この機会に行こうと思いました。

設問2 実際に参加してみて、特に印象に残ったのは何ですか。もしくは、あなたにとって新たな「発見」「気づき」は何でしたか。【Do】

- 印象に残ったのは、シミュレーターを利用した体験実習。患者さんに採血をする時に、名前の確認仕方を患者さんのことを考えた方法で確認するなど、細かい気遣いがされていると思った。
- 一年次に早期研修をするということを知ったことです。国家試験合格率がとても高くてびっくりしました。
- 今までに講義の内容をよく聞いて勉強するだけだと思っていたが、実際に医療器具に触れて使い方を覚えることや、病院で研修を行い現場の空気を肌で感じるなど、実践的な内容のものが多かった。
- 人形と実際の医療器具を用いた、医療体験が印象に残りました。呼吸器系では、自発呼吸が出来ない人のための呼吸機器の取り付け方について教わりました。気管の方へ呼吸機器の管を入れるのですが、間違えて食道の方へいってしまい、医療の大変さがわかりました。また、採血の体験をさせて頂きました。スムーズな流れで採血ができず少し残念でしたが、とても良い体験となりました。
- 医師というものは色々なことができないといけない職業、つまり全てができないといけない職業だと。一つ一つの動作が難しく、病院にかかるとあっさりしてくださることが、どれだけの訓練を積んで臨んでいるのかを改めて知った。
- 医者でもコミュニケーションは大切なことだと気付きました。勉強しなきゃ入れないな。

設問3 実際に参加して、現在の自分の取り組みについて修正しなければならないと思った部分がありますか。【Check】

- 医療についての一般的な知識はあっても、細かいところまでは知ることができていなかったこと。
- もっと勉強しなきゃってことと、たくさん本を読んで、たとえ医者にならない、医学部に進まないとしても教養を身につけたいと思った。
- 勉強量を増やす。コミュニケーション力をつける。
- 勉強時間の延長、学習効率の向上、長期間集中力を維持し続けること、学習に対する意欲
- 先を見通した勉強をすること。
- 勉強をもっと学校の授業を中心にやるべきだと感じた。人それぞれ勉強法が違うので、自分ペースでやっていけばいいと感じた。
- 生活習慣の改善 勉強する時間を決める。もっとコミュニケーションをとる。

設問4 上記を受けて、現在の自分の取り組みを具体的にどのように変えようと思いますか。

【Action】

- 医療についての一般的な知識だけでなく、もっと色々なことについて調べ、知識を増やす。
- 多分、医学部に憧れていたのって教養がある人に憧れていたのと同じだなと思って、自分の行動に責任を持ちたいと思った。医者はずべての責任を1人で補うこともあるだろうし、これからの生活はいろんなことに挑戦して行きたい。
- 苦手な分野から逃げない。人との関わりを広げる。
- 1日に4～5時間勉強する。勉強方法の改善、長期間集中してられるように日頃から訓練する。興味を持ったことをすぐ調べるなどして学ぶことの楽しさを知る。
- 小論文対策として国語本文100字要約や、新聞を読む。
- 勉強時間をしっかりと確保するためにも、早寝早起きを心がけ、休憩中と勉強中のメリハリをつける
- 今の勉強方法を見直して、自分にあった勉強方法を見つける。
- 一日の計画を立てる。積極的に色々な人と関わる。
- その日の授業で分からなかったものは、あとでわかるようにしておき、その日のうちに見直す。
- 苦手なものを中心に学習して、苦手を克服・定期的に各教科を復習し、その時に理解できたものもきちんとやり直して忘れないようにする。

設問5 今回参加してみて、医学部医学科（医療系含む）についての理解は深まりましたか。

- | | | | | | |
|-------------|---|----|-----------|---|----|
| A 大いに深まった | … | 8名 | B 深まった | … | 3名 |
| C どちらともいえない | … | 0名 | D 深まらなかった | … | 0名 |

設問6 あなたの医学部（医療系含む）に対する進学への意欲は刺激されましたか。

- | | | | | | |
|-------------|---|----|------------|---|----|
| A 大いに刺激された | … | 4名 | B 刺激された | … | 6名 |
| C どちらともいえない | … | 1名 | D 刺激されなかった | … | 0名 |

設問7 今回の事業は、あなたにとって有意義なものとなりましたか。

- | | | | | | |
|--------------|---|----|---------------|---|----|
| A 大いに有意義であった | … | 8名 | B 有意義であった | … | 3名 |
| C どちらともいえない | … | 0名 | D 意義が見いだせなかった | … | 0名 |

設問8 自治医科大学について、感じたことを書いて自由に記述してください。

- 寮があって、学生にはとても通いやすいと思った。シミュレーションのための設備もしっかり整っていて、いい環境で学べそうな雰囲気だった。
- 素晴らしい勉強環境で、寮生活をしながら学べることはすごいと思いました。地域医療をしているときいて、高齢化社会の世の中の手助けが出来ると思いました。
- 地域医療の考え方はとても素晴らしいものだと思うが、私は茨城から出たいので必ずしも共感できるわけではなかった。しかし、自治医大の教育は素晴らしく、受けてみたいと思った。ありがとうございました。
- 勉強がしやすい環境がとても整っていた。自習室に講師が1人いるという制度はとてもいいなと思った。学生寮は1人で生活するには十分広い部屋だった。寮から校舎までの距離は少し長いなと感じた。採血などの体験ができてよかった。

- 寮生のメリットや金銭的な支援、実践的な授業内容などとても興味が湧く内容のものが多くあった。大学選択の際に参考にする。
- 自治医科大学の医学部医学科は全寮制であり、学生全員が仲が良いと学生さんから話を聞いた。自治医大の建物も綺麗で、寮の部屋も安い値段で良いと思った。国家試験の合格率もほぼ 100%と素晴らしい、ここでは素敵なカリキュラムで勉強ができるのだと感じた。しかし、やはり医学部は学力が高くなければ合格はできない。夏休み中はもちろんのこと、日頃から受験を意識した勉強をしたい。基礎基本を着実に定着させ、応用問題にも挑戦できる力を付けるため、集中してコツコツと努力していきたい。
- 実際に大学生に触れ合えて、今の自分には必要なことなどがわかり、今の学習状況に向き合うことができた。
- メリハリがついている学校だと思った。
- とても講師陣が熱心なことが一番伝わった。 周りの環境も整っており、同じ仲間という形で勉強に取り組めるので、友人もつくりやすく、いい大学だと感じた。
- 国家試験で合格率トップを取っているだけあって、みんなちゃんと勉強しているし、環境も整っていた。勉強だけでなく、部活も頑張っている人が多いと聞いて、今の自分も頑張らないといけないなと感じました。
- 医療についてとても力を入れている大学なんだと、お話を聞いたり施設見学をして改めて感じました。医学部への道のりは厳しく長いものだと思うけれど、行きたいという気持ちが強まった。

